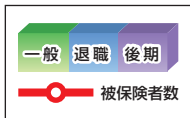
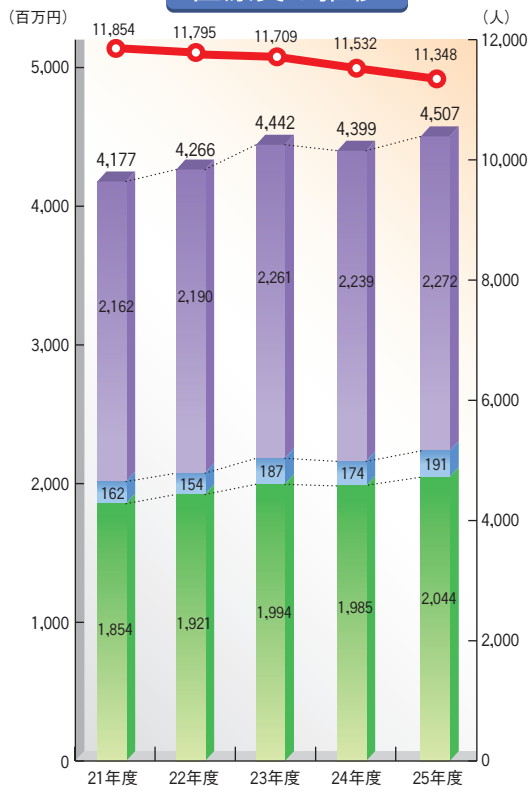


益子町

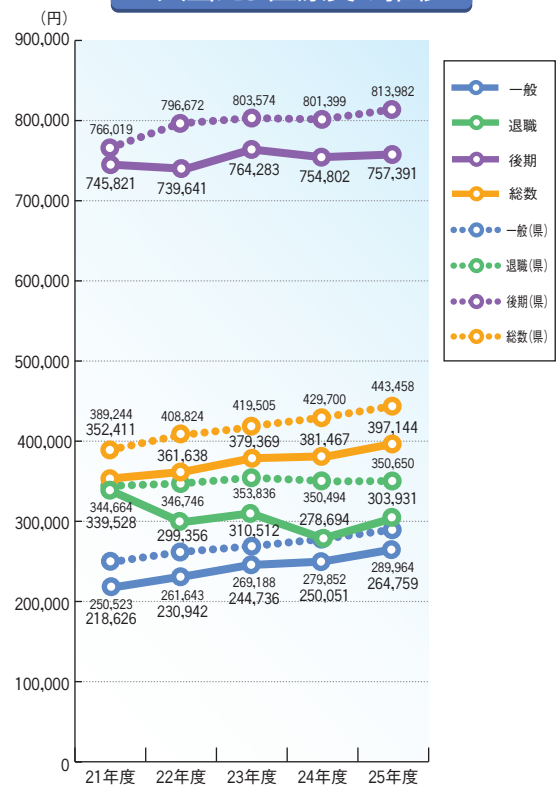
益子町



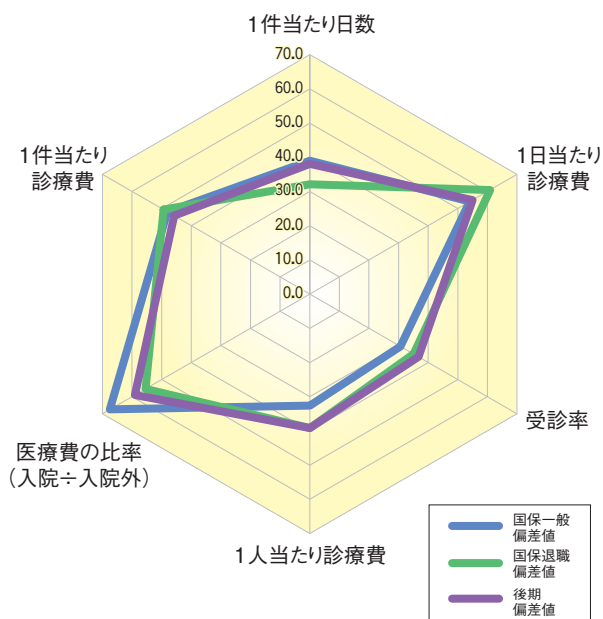
医療費の推移



1人当たり医療費の推移

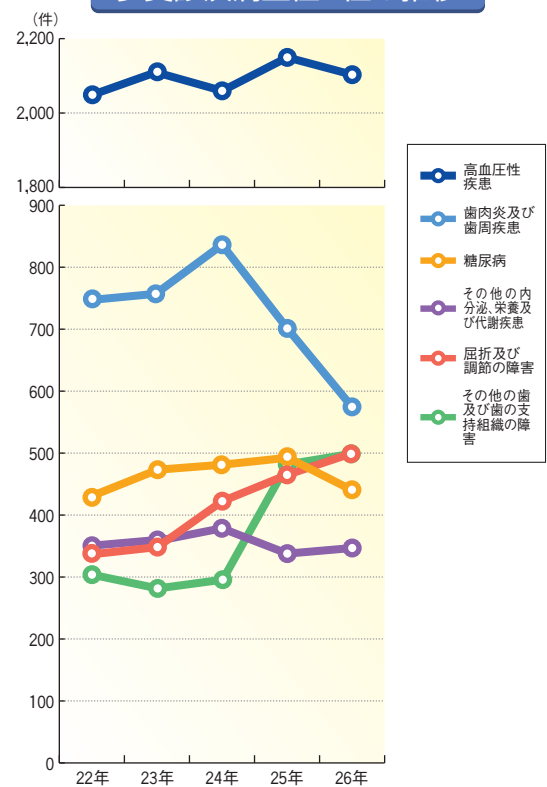


平成25年度
3要素と医療費諸費(県平均との比較)

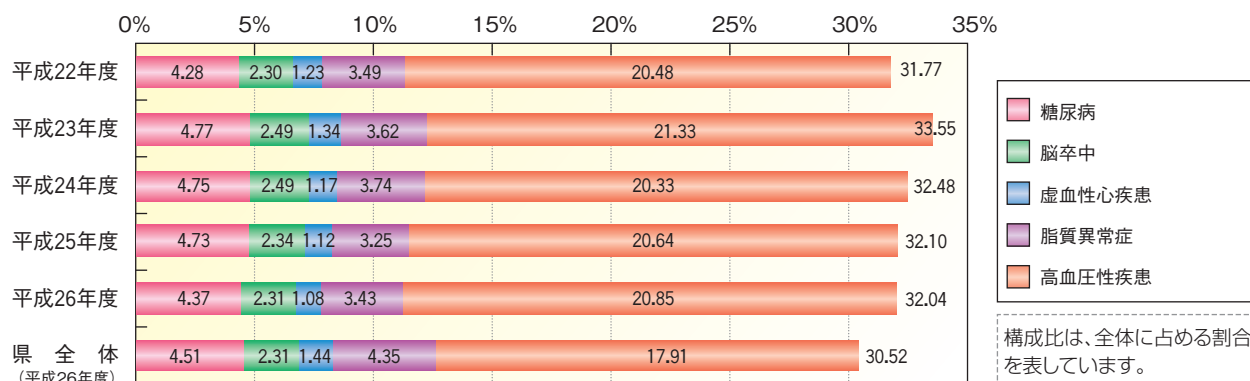


レーダーチャートでは、全ての軸のスケールは偏差値として統一されています。栃木県(平均)が50となるため、値が50の頂点を結ぶ正六角形が栃木県のレーダーチャートになり、当該地域の傾向が正六角形のずれ具合として把握できます。

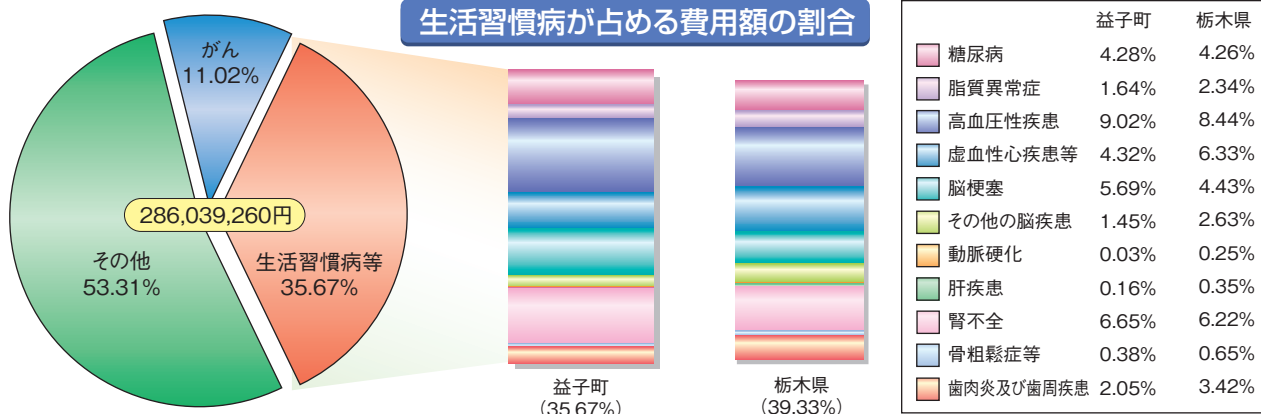
多受診疾病上位6位の推移



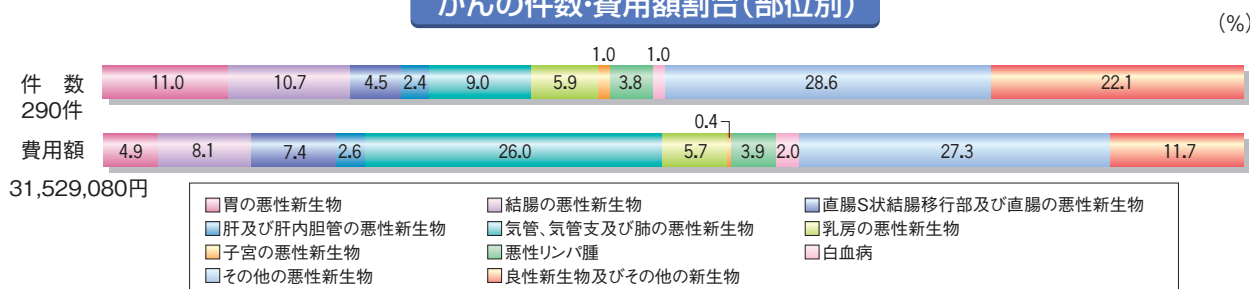
生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



生活習慣病が占める費用額の割合



がんの件数・費用額割合(部位別)



益子町の状況

★医療費の状況及び被保険者数

平成25年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般2,044,204千円(103.0%)、退職190,565千円(109.4%)、後期2,271,858千円(101.4%)で、全体では4,506,627千円(102.4%)と増加している。()は前年度との比較。

平成25年度平均被保険者数は11,348人で、内訳は一般7,721人、退職627人、後期3,000人である。前年度比較すると全体で98.4%と減少している。

また、平成25年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は397,144円(15,677円増)、一般は264,759円(14,708円増)、退職は303,931円(25,237円増)、後期は757,391円(2,589円増)である。()は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療諸費の県平均との比較をみると、いずれの法別も、1日当たり診療費と医療費の比率以外、県平均を大きく下回る低い偏差値となっている。

★疾病の状況

平成26年5月診療分の件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位その他の歯及び歯の支持組織の障害、4位屈折及び調節の障害、5位糖尿病、6位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患で、中でも3位のその他の歯及び歯の支持組織の障害は平成23年度以降増加しており、平成22年と比べ、件数は1.64倍、費用額は2.00倍となっており、4位の屈折及び調節の障害も平成22年と比べ件数は1.48倍、費用額は2.40倍の伸びを見せている。

また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、県全体と比べ高血圧性疾患の構成比が非常に高く、脂質異常症は低い構成比となっている。

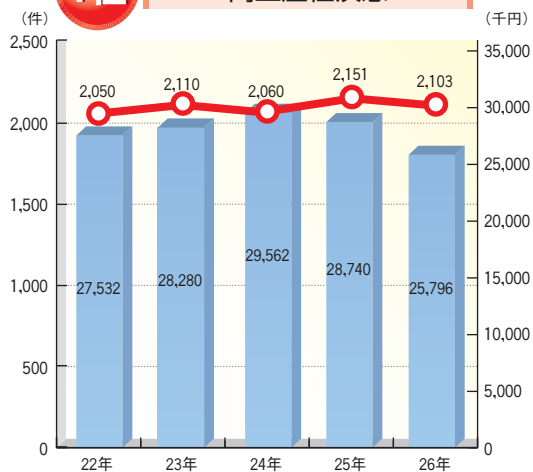
生活習慣病が占める費用額の割合では、平成26年5月診療分の総費用額が286,039,260円で、がんが11.02%、生活習慣病関連が35.67%を占めている(県全体 がん11.61%、生活習慣病関連39.33%)。費用額の占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患9.02%、腎不全6.65%、脳梗塞5.69%となっている。

がんの部位別の件数及び費用額の割合をみると、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数では、胃の悪性新生物、結腸の悪性新生物、費用額では、気管、気管支及び肺の悪性新生物が高い割合となっている。

多受診疾病 上位6 の年次推移

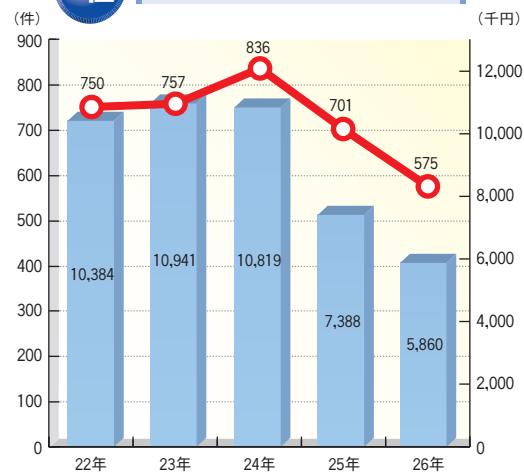
1位

高血圧性疾患



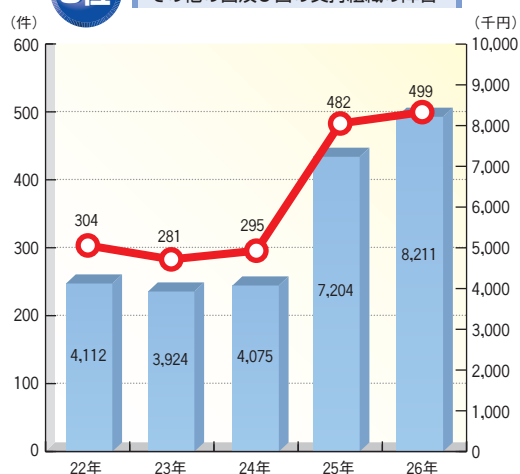
2位

歯肉炎及び歯周疾患



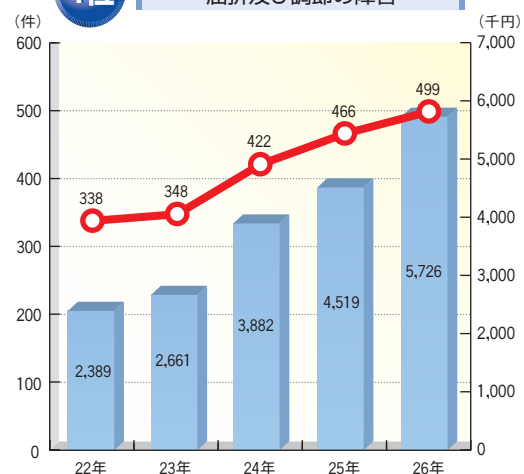
3位

その他の歯及び歯の支持組織の障害



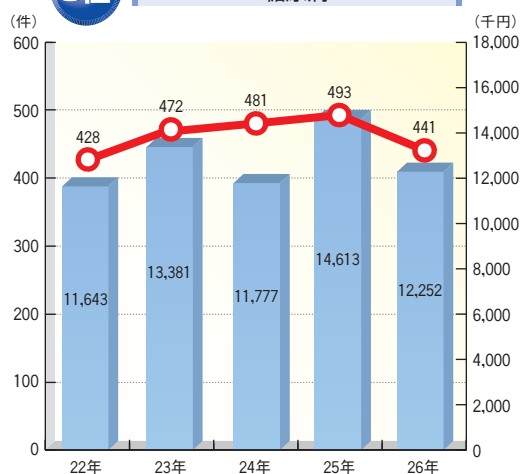
4位

屈折及び調節の障害



5位

糖尿病



6位

その他の内分泌、栄養及び代謝疾患

